

1. 事業の位置付け

事務事業名	中央公民館設備改修事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
予算科目	01-100502-070000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等	社会教育法第21条		
対象・受益者	市民	事業期間	平成22年度～平成24年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
改修された中央公民館ホール舞台照明設備により、円滑な舞台運営や演出効果の向上が図られ、施設利用者の満足度が高まっています。		安心安全な施設管理・運営を行うとともに、利用者の満足度を高めるため、築27年以上が経過し、老朽化した中央公民館ホールの舞台照明装置を改修します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標①	指標名	中央公民館舞台照明設備整備進捗率	単位	%
	説明・算定式	平成24年度を100%とした事業進捗率（調光設備、負荷設備、移動器具更新） H22：30%、H23：30%、H24：40%		
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	社会教育法等により、地方公共団体は社会教育施設の整備に努める必要があります。中央公民館のホールは利用率も高く、市民の文化向上に大きな役割を果たしていることから、必要性は高いものがあります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	中央公民館ホールの舞台照明設備の改修により、出演者、観客の双方へ質の高い文化・芸術活動を提供することにつながります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	施設の適切な維持管理により、設備の故障による影響がなくなるとともに、円滑な舞台運営が可能になり、さらには出演者及び利用者の安全確保にもつながります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input type="checkbox"/> その他	設備の更新により、修繕経費の削減が図られます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析				
改修に伴ってホールの利用を休止することから、休止に対する利用者への周知徹底と理解を図るとともに、計画的な工事の推進により、利用上の支障を少しでも少なくする必要があります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成22年度試算額	平成23年度試算額	平成24年度試算額
事業内容		ホール舞台照明装置改修（1期）	ホール舞台照明装置改修（2期）	ホール舞台照明装置改修（3期）
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	100,000	100,000	100,000
事業費（A）		100,000	100,000	100,000
内訳	職員（人）	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00
	人件費（B）	0	0	0
フルコスト（A+B）		100,000	100,000	100,000

4. 今後の事業展開（担当課としての提案）

平成22年度の事業の方向性			
ホールの舞台照明装置は開館以来使用しており、不具合の心配もさることながら修理部品の調達も難しくなる中で、ホール運営に支障をきたさないよう計画的に改修を進めていきます。			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行政改革事業 <input type="checkbox"/> 事務事業	課長コメント	舞台照明設備の更新は不可欠な時期に入っていることから、計画的に遅滞なく対応していくことで、機器故障による利用中のトラブルを防ぐとともに、利用者のために安心安全な舞台運営の実現と利便性の向上を図ります。